



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫
文化協会活動・1月川柳句会
(秀)★酉年に木鶏の心忘れ
るな(古屋まさお作)

3月
定例
議会
報告

過去最大の大型予算 190億5000万円(一般会計)が可決

●山梨市駅南北通路・駅南整備や市道及び庁舎西館の改修事業等の推進
●古屋まさお市議 2期8年の経験と実績を積み重ね未来のへ挑戦



山梨市議会議員 古屋まさお

予算と主な事業概要

平成29年度一般会計予算190億5,000万円

(28年度より9千万円・0.47%増)

平成29年度予算は「健全な財政運営、積極的な市政運営」を基本に、「第2次山梨市まちづくり総合計画」に引き継がれるものを合わせ、「まち・ひと・しごと創生法」に基づく事業などを取り込んだ戦略的予算としている。

■総務費／庁舎西館空調・照明設備の改修、市外に通学する学生通学支援事業など、総額20億2,896万円余。

■民生費／障がい者・新たな相談支援体制の確立事業、公立保育園の英語教育事業など総額5億5,642万円余。

■衛生費／妊娠・出産包括支援事業、市環境センターごみ処理施設の解体事業など15億503万円余、

■農林水産費／販路拡大等地方創生推進事業や万力地区基盤整備事業等総額5億7,899万円余。

■商工費／国外から観光客を呼び込むための観光プロモーション強化事業や企業立地促進助成事業など総額3億8616万円余。

■土木費／山梨市駅南地域事業や落合正徳寺線事業など

3月定例会はさる2月27日から3月23日まで開かれた。提案された議案は専決処分を含む補正予算12件、施工協定が1件、規約の変更等の変更2件、山梨市学校給食センター請負契約(建築、機械設備、電気設備、厨房設備の各工事)4件等が提案され、審査の結果、補正予算関係は全会一致で可決、平成29年度予算及び一部条例の改正等は賛成多数で可決されました。また、人事案件(教育委員、監査委員、公平委員、固定資産評価審議会委員、牛奥山恩賜県有財産保護組合議会議員)について同意、可決しました。

「古屋まさお」市議は今期、「副議長」期間を除き、すべての開催議会で70項目を超える質問、政策提起を積極的に行ってきた。この3月定例会では、①平成29年度予算と市政運営について、②旧市役所跡地の利活用策について、③牧丘地区等の「簡易水道組合」の管理設備の強靱化対策等に対する補助率の見直し(補助率アップ)について、④水道料金の改定に向けた考え方について市側を質した。

※ 記載内容は古屋まさお市議のメモであることから、適切な表現でない部分等についてはご容赦願います。

40億3,757万円余。

■教育費／基礎学力の定着と向上を目的とした学力フォローアップ事業や旧牧丘町ゴルフ場跡地利用計画の検討する市有林有効活用事業など15億9244万円余。

○基金残高41億904万円(貯金)

○地方債残高265億5,333万円

(一般会計の市民一人当たりの借金71万6千円)

古屋まさお市議「一般質問」のポイント

○「平成29年度予算及び市政運営の考え方」に対する見解(市長) 山梨市の将来財政運営は、合併による優遇措置の終了により地方交付税の段階的減少と市税等自主財源の増加は見込めず厳しい状況となることが想定される。

安心・安全の学校給食と「給食費の無料化」を

建設される「学校給食センター」は総額約20億5600万円の費用をかけ平成29年度から建設が始まり、平成30年9月開始を目指し、元県果樹試験場跡地一部（万力）に建設されます。3月定例会では、その請負契約に関する議案が審議され賛成多数で可決された。また、「古屋まさお」市議は昨年の9月定例会において、一早く給食センター化による調理のランニングコスト低減分で、「給食費御の無料化」を提案し検討事項となっています。また、3月定例会では会派（市民の会）の代表質問では給食センターの建設において、集団食中毒を意識したノロウイルス対策について質し、

安心・安全な「学校給食センター」の建設を求めた。

■学校給食センター建設費（請負契約内容）

◇土地購入費（県から）：7,000㎡ 1995万円

◇建設費：15億2,366万4千円（消費税込）

（建設主体工事）6億26万4千円（消費税込）

（機械設備工事）3億1968万円（〃）

（電気設備工事）2億1600万円（〃）

（厨房設備設置）3億8772万円（〃）



一方、医療、介護などの社会保障費の増加、防災対策の推進、駅南地域の整備や公共施設の意維持管理、長寿化経費など財政需要は増大・複雑化され、財源の有効活用するため、施策・事業の「選択・集中」の考えの基に事業の再構築・最適化を図る。

○旧市役所跡地の活用策、早急に示すべきとの質問について

（市）市民会館周辺の駐車場確保の可能性を見極める中で、早急に整備方針を策定最も有効な活用地としたい。

○市管理の公共施設の維持管理業務等を市内業者が参入に参入しやすいシステムに

（市）工事請負契約、業務委託・物品購入契約全般において原則市内業者を最優先としている。今後も引き続き市内業者の育成に努める

○簡易水道組合管理の設備更改等にあたっての補助率の見直しを

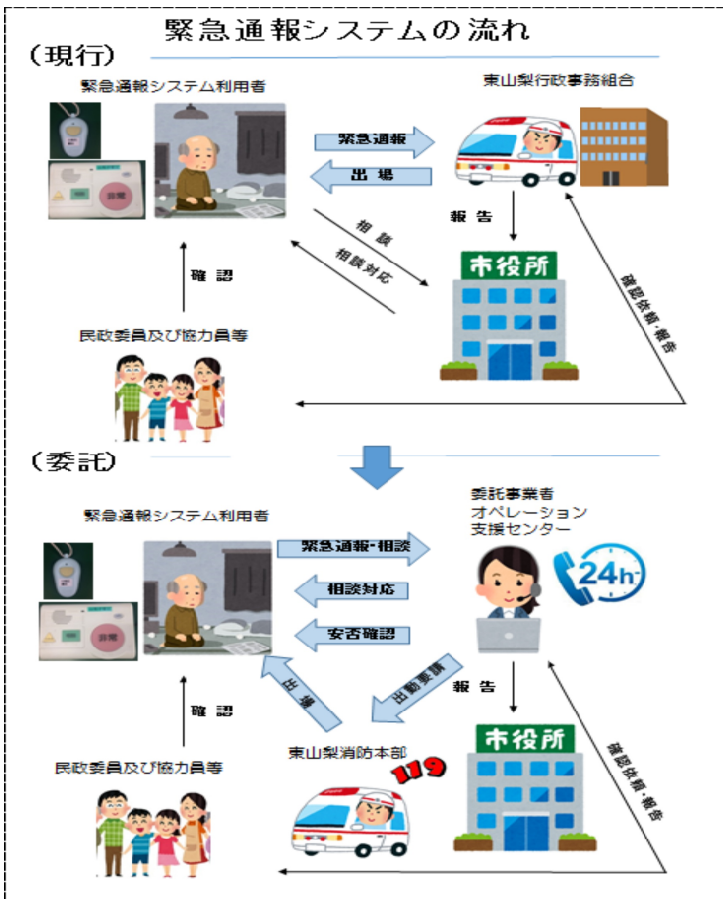
（市）事業の補助金は現在一般会計からの繰り入れで対応している、全市的課題として前向きに検討したい。

○水道料金改定の考え方は

（市）さる3月10日に水道審議会から答申では、人口の減少、高齢化の進行、設備の老朽化の更新など水道事業経営は厳しいものがあり料金値上げはやむを得ないが、「値上げ幅をできるだけ抑える」との答申であります。公共料金として性質、市民生活に与える影響等を考慮した料金設定になるよう検討したい。

■ 緊急通報システム事業(ふれあいペンダント)の変更

これまで東山梨行政組合が実施してきた事業を各市で実施することとなりました。



★★★★★ 「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★

▼ふるさと納税約1300件、1億7千万円余返礼金は寄付額の約37%、もも・ぶどうが約7割、▼「JR山梨駅」駅長はなくなり、複数駅を統括する駅長として酒折駅に常駐、切符購入等の窓口を閉鎖、全て自販機に移行、安全、サービス面での低下を懸念する声も、「市民の声」をしっかりと議会に反映してきた8年間、▼議会報告（友雅会ニュース44号）欠かさず発行、市民の皆さんに情報発信をしてきました。

引き続き頑張ります。 <http://www.e-masao.net/>

組織内討議資料

